

## 消 防出初式&消防広場開催！ 新年を迎え消防防災活動へ意欲を高める



1月11日、中央公民館にて、美浦村消防出初式が開催され、1年間の活動報告や消防活動功労者などの表彰が行われました。式典には村消防団員ら約90名といなほ消防署署員が参加し、新年のスタートにあたり消防防災活動へ意欲を高めました。

### ★茨城県知事表彰

・永年勤続功労章20年  
井上 秀一（第2分団）  
村崎 祐介（第10分団）

### ★消友会表彰、稲敷広域消防本部消防長表彰

・第76回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南南部地区大会出場  
第11分団(布佐地区) 新田 和幸、天野 祐汰、新田 紘史郎、  
桑野 勝、清原 克敏

《敬称略》

屋外では、出初式の特別イベントとして「消防広場」が開催され、分団車両が一堂に整列した光景は壮観でした。ほかにも、消防署の救助工作車や救急車の展示、乗車体験などが行われ、消防隊員から現場での話を熱心に聞く人、防火衣を試着して消防士になりきるお子さんなど、防災のために働く人や車を間近に体感できた1日でした。

## ソ フุตบอลで地区の交流試合開催 スポーツで地域の絆を深める

10月12日、老人福祉センター（舟子）にて、根火・牛込・根本地区の有志によるソフトボール交流試合が開催されました。この交流試合は、地区同士の親睦を図る場として数十年続いている行事で、3年前から従前の村民体育祭の開催日に合わせた日に行われています。

中心となって活動する小泉亮さん（根火）は、「長年続いた地区対抗の村民体育祭がなくなり、人口減少も相まって地区同士の交流が減っている。この交流試合は、人と触れ合う機会を増やすことが一番の目的。勝ち負けよりも、みんなで集まること自体に意味があり、試合後の食事会も楽しみの一つ。さらに参加してくれる方が増えると嬉しい。地域の繋がりを深めるためにも今後も続けていきたい。」と、思いを語られました。





## 美 浦中学生による小学校跡地利活用プレゼン実施

住み続けたい村づくりのために、旧小学校に着目！



12月10日、役場にて、美浦中学校3年生9名が、村長、教育長、村議会に対し、小学校跡地利活用についてのプレゼンテーション（提案）を行いました。

美浦中学校3年生の「総合的な学習の時間」では、『地域活性化～住み続けたい村づくり～』をテーマに12の活動計画を立て、班ごとに学習を進めています。今回、提案を行った班は、閉校になった小学校の活用方法について着目し、活動してきました。

当日は、旧安中小学校での「グランピング」や「肝試し」、「体育館での映画上映」など、中学生らしい自由な発想で、村の未来に向けた柔軟なアイデアが提案されました。

### 「小学校跡地利活用」にかかる進捗状況

村では、令和5年に「学校施設跡地利活用検討委員会」を立ち上げ、令和7年3月閉校の3つの小学校の利活用について検討を進めました。役場の若手職員で構成されたワーキングチームを結成し、また、住民から直接の意見を聴く場としてワークショップを開催するなど広く意見を集め、令和6年9月に「美浦村小学校跡地利活用方針」を決定しました。

#### 《美浦村小学校施設跡地利活用方針》

- ①地域の活性化に寄与する、地域特性を生かした施設
- ②村民が満足できる施設
- ③地域住民が利用できる施設
- ④民間に売却や貸し出しによる有効な活用
- ⑤緊急時の避難場所
- ⑥観光・宿泊施設
  - ・都心から近く、自然が豊かな本村の立地条件を生かした施設
  - ・「競走馬の里 美浦」をPRしていく施設
  - ・来訪者が利用できる施設

令和7年7月には公募型プロポーザルを実施し、廃校になった3校の利活用を希望する参加者の募集を行いました。現在も方針に基づき、地域の実情等を考慮しながら検討を進めています。

旧木原小学校	新たな利活用について検討を進めています。 ※公募型プロポーザルの結果、参加表明者なし
旧安中小学校	公募型プロポーザルにおいて以下事業者から参加表明があり、審査の結果、優先交渉権者として決定しました。 ▶優先交渉権者 エバーグリーン株式会社 ・提 案 内 容 宿泊施設として利活用を図る予定 今後、優先交渉権者との協議を経て事業開始までのスケジュールを決めていきます。住民説明会等の開催も予定しています。
旧大谷小学校	新たな利活用について検討を進めています。 ※公募型プロポーザルの結果、参加表明者なし